

水腎症の治療及び手術のために受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター泌尿器科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

腎盂尿管移行部通過障害の解剖学的構造調査による発症原因の解明

【研究の背景と目的】

水腎症とはおしっこの通り道（尿管）になんらかの障害（閉塞）が起こり、本来外に出るべきおしっこが戻ってしまい、腎臓や尿管が腫れてしまう病気です。通常、石の詰まり（結石）や腫瘍なその疾患で起こるのが一般的です。しかし、このような原因がないのに起こる通過障害もあり、腎盂尿管移行部通過障害と呼ばれます。小児の患者さんでは生まれつき（先天性）のものであることが多いのですが、成人となつてからの通過障害はどうして起こるのかまだよくわかっていません。この研究は腎盂尿管移行部通過障害で腎盂形成手術を受けた患者さんの診療記録を調査してデータをまとめることで、腎盂尿管通過障害の発症の特徴を明らかにできるのではないかと考えております。

【対象となる方】

2010年1月1日から2022年5月31日までの間に当院泌尿器科で腎盂尿管移行部通過障害の治療のために受診し、腎盂形成手術を受けた方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

患者背景：生年月、性別、身長、体重、合併症、既往歴
画像検査：手術前のCT、MR、手術時画像
病理診断結果：手術時に採取した検体の病理結果
手術関連項目：手術日、術式、術中所見、術中合併症
臨床症状：手術前及び手術1年後のレノグラム検査結果、水腎症発症の有無

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日（2023年7月8日）から2025年3月31日まで実施され、約140名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本泌尿器科学会雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 宋 成浩（学内教授）

【研究担当者】

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 池添 慧梨香（レジデント）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 山本 佳子（臨床研究コーディネーター）

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-4944（泌尿器科外来直通）

月～金 午前9時～午後5時

以上